

「エキスポ'90みのお記念の森」で森のふしぎ発見!? ～地元小学生が森を探検!自然にふれあい!森の大切さを深く学んだ!～

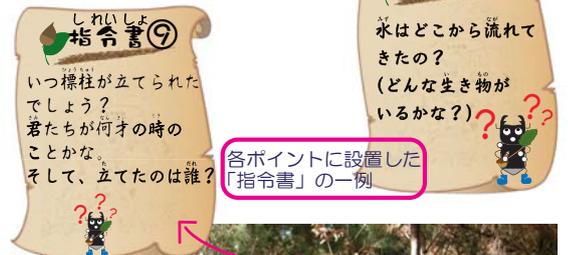
平成30年11月29日(木)、箕面市立豊川北小学校(以下 豊川小という。)の4年生の生徒85名が、箕面国有林にある「エキスポ90'みのお記念の森」で、箕面森林ふれあい推進センターが開発した森林環境教育プログラムである「森の探検隊」を体験しました。

「森の探検隊」とは、「エキスポ90'みのお記念の森」内に設定された25箇所あまりのポイントから、グループ内で相談し、予め決めておいた5ポイントを巡り、各ポイントに設置された「指令書」の謎かけを解いていくことで、自然に触れ、楽しみながら森の不思議を学べるよう工夫されたプログラムです。

今回、5回目の参加となる豊川小では、6～7名を1グループとし、14班編成としました。

子供たちは、事前にポイント名やポイントの概要などを確認し、回るポイントを選択し、記録係やカメラ係など役割分担を決めておくなどの準備をして臨みます。

また、大阪森林インストラクター会にもご協力いただき、事前のポイント設定のアドバイスの外、当日は引率役として会員12名の方に応援いただきました。



アドバイスを受けながら
みんなでお考え中...?!



なるほど!! 柵がないと
草がなくなるんだ。



当日は天候にも恵まれ、参加した子供たちは元気いっぱい、キラキラと目を輝かせながら、ポイントにある「指令書」に真剣に向き合い、森や自然について色々と調べてくれました。

参加した子供たちに、森の多様性、効能、楽しさ、増えすぎたシカの被害対策の苦勞などを少しでも感じてもらえたら幸いです。

午後は、場所を「箕面ビジターセンター」に移動し、NPO法人みのお山麓保全委員会の方々からの指導により「水辺の生き物調査」、「森の自然工作」、「ビジターセンター展示室見学」を体験し、「水辺の生き物調査」では、箕面川から採取したトンボの幼虫など昆虫類や小動物を観察し、森と川のつながりなどを学ぶなど、箕面の森の豊かさを実感してもらいました。

参加した子供たちから、「楽しかった」、「また参加したい」、「森のふしぎがわかった」などの言葉をもることができ、我々の活動を進めるうえでの励みとなりました。



箕面ビジターセンター見学



この生き物はなんだろう？



自然工作って楽しいね！



森のふしぎを後世に伝えて（下級生への伝達）!! ～「森の探検隊」発表会～

平成31年3月13日（水）、箕面市立豊川北小学校において、昨年11月に「森の探検隊」に参加した4年生による体験発表会が行われました。

子供たちは班ごとに、模造紙を使って大きなリーフレットを作成し、森の中で自分たちが見て、触って、感じたことや調べたことを取りまとめ3年生に伝えました。

3年生からは、自分たちも今年は体験できるとの期待に満ちあふれた表情で食い入るように発表を聞いていました。

この取組の継続により、子供たちの森への関心は一層深まったのではないかと思います。

年号も平成から令和に移り変わりましたが、森林環境教育の推進にむけた箕面森林ふれあい推進センターの活動として継続して取り組んでいくとともに、これからも子供たちが山を楽しみ、森に関心を持って学べるプログラムになるよう努めて行きたいと考えています。

